

## 競 技 注 意 事 項

- この大会は、2015年日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により競技を行う。
- この大会は、第68回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会の予選を兼ねる。
  - 各種目とも、男子4位・女子3位までが県大会の出場資格を獲得する。但し、競歩・混成競技は男女各1位のみで、棒高跳(3m00)とハンマー投(40m00)については、県大会出場標準記録を設ける。リレー種目は自由参加とする。
  - 地区予選の結果、出場資格を得た者を除いて、県下で記録上位の者(男子8名・女子7名)を+ $\alpha$ として、出場資格を与える。
- 招集について
  - 招集場は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
  - 招集開始時刻は次のとおりとし、プログラムの競技日程欄に記載している。  
トラック種目は競技開始の20分前、フィールド種目は競技開始の30分前
  - 招集の手順
    - 出場選手は、招集場に掲示した出場種目のプログラムを確認し、記載事項に誤りがあれば競技者係に連絡する。
    - 招集開始時刻までに招集場で待機し、本人が点呼を受ける。その際に、ナンバーカードとスパイクのチェックを受ける。点呼を受けない者は棄権とみなされ、出場できない。
    - 点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に2種目以上出場する者は、必ず最初の種目の招集の際に競技者係にその事を申し出て許可を得ること。許可を得た場合に限り、代理人による点呼を認める。
- スタートはイングリッシュコマンドとし、不正スタートをした者は失格とする。
- 練習については、補助競技場が付設されていないため、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。ただし、投てき練習は一切禁止する。
- 3000mSCは競技場施設の関係で、3000m競走で実施し選手を選考する。
- 競技運営の都合上、5000m競歩では、男子36分、女子42分で競技を打ち切る。
- スターティングブロック、棒高跳用ポールは各自が持参のものを使用する。投てき用具は競技場のものを使用する。ただし、ハンマーとやりは数が少ないので、各校より持ち寄るものとするが、その際の用具については、競技開始時刻の1時間前に、本部横で検査を行う。
- トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の左の行の上から下へ、次に右の行の上から下へとする。
- 決勝の組合せは、すべて番組編成員が公平に行い、招集場に掲示する。
- リレーのオーダーは、用紙を招集場で競技者係から受取り、招集開始1時間前までに必要事項を正しく記入し、競技者係に提出する。
- バーの上げ方は、次のとおりとする。

走高跳	男子	練習(1m35)	1. 40-45-50-55-60-65-70-75-80-83 (以降3cmきざみ)
	女子	練習(1m05)	1. 10-15-20-25-30-35-40-45-50-53 (以降3cmきざみ)
棒高跳	男子	練習(2m30)	2. 40-60-80-3.00-20-40-50 (以降10cmきざみ)

順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- 棒高跳・やり投は、全天候型助走マットを使用する。(スパイクピンの長さは、9mmが適当)
- 男子の4位(着)と女子の3位(着)が2名以上出た場合は、県大会への出場権を決定するために、走高跳は決定戦を行う。その他の種目においては、抽選により決定する。
- 表彰については、総合の部の男女の優勝に優勝杯と各6位までに賞状。トラック、フィールドの部は男女各3位までに賞状。種目別の個人は男女各3位まで賞状をそれぞれ授与する。さらに、本大会において優れた成績を残した選手より男女各1名に最優秀賞としてトロフィーを授与する。
- 個人情報の取り扱いについて、本大会に関して寄せられた個人情報は本大会の目的以外には使用しない。尚、参加申込の提出により、個人情報のプログラムや掲示板への掲載や、本大会が認めた報道機関に公表し新聞等で公開されることを承諾したものとみなす。
- 競技終了後のグラウンド整備、及び用器具の片付けは、参加各校協力して行うこと。また、使用したスタンド周辺の清掃にも積極的に取り組むこと。